

失踪ニ関スル法令指令参照

(発行年 / Year)

1910

元年

失跡ニ關スル法令指令参照

明治元年三月揭示

高札幕五覺札ノ内脱籍人處分ノ事

浮浪徒ノ取締ヲ嚴シス

二年三月三日布告

復籍取計方及脱籍為致間敷事

同 三月八日布告

浮浪徒ノ籍ノ者ハ差置申聞敷事

同 三月御沙汰

脱籍歸籍ノ者ハ沙メナシ入籍可為致事

同 四月十五日御沙汰

脱籍浮浪ノ者本地ハ引戻シ可申事

同 四月十九日東京府達

久離帳外下相成事

同 十一月十三日布告

脱籍ノ輩東京ヨリ其本地ハ送付入費ハ其道筋府藩縣ニテ相成可申事

三年正月九日布告

脱籍人ハ旧惡ヲ不糾復籍為致再應被仰出

ノ事

同 九月四日布告

復籍規則被定事

四年十二月二十日布告

復籍シテ持地ナキ者ハ其徒場地ハ差置クベ

キ事

五年四月七日布告

二年

三年

四年

五年

三年

脱籍無産ノ徒懲役期限満了後モ尚土徒場ニ留メ罪人ト別置ニ其月相當ノ使役申付置事
五年六月二十九日布告

軍人軍属ノ脱走者見當リタルトキハ地方所管ノ鎮台本営又ハ分営ヘ護送スルキ事

同十一月二十七日監獄則披露

脱籍無産ニシテ復致難キ者ハ懲役場ニ別居ノ事

六年五月二十四日布告

従前脱籍人即今復籍不致者ハ律ニ照ラニ處分スルキ事

同八月二十三日大藏省問合司法省回答

逃亡二年以内ニ復歸ノ者ハ收録ニ可及事

同五月二十八日布告

○
昨江幸仲ノ於此
中定ムルヤ

脱籍又ニ行僞知レサル者家出後三十六ヶ月ノ斷ハ永尋中ノ者ハ戸籍表総人員外ニ記シ又当人八十歳以上ニ成成候ハハ除籍ニ何レモ毎年大藏省ヘ可届出事
七年六月十七日司法省布達

七年

復籍却送ハ其本籍地ノ區戸長ヘ向ケ引送可申事

七年九月二十日司法省布達

府縣違送人入費ノ義有籍者ハ其家元ニ於テ無籍者ハ官費ニテ之ヲ支辨スルニ

八年五月二十四日盤前縣

養子脱籍行儀不知節養父並家々協議ノ上

八年

離縁不苦事

同九月十四日 盤前縣

有祿戸主逃亡二年以外ヲ經テ 歸ラサレハ其
遺妻離縁ノ上更ニ入文不苦事

同十二月十四日 和歌山縣

養子逃亡餘義ナキ事情アルトキハ二十四ヶ
月以内タリトモ離縁不苦事

九年六月二十三日 目注首指令 滋賀縣同

脱籍失踪等ノ尋方ハ行衛不知自届出タル日
ヨリ起算可致事

同九月六日 兵庫縣

戸主逃^レ嗣子ノ家事ニ堪エル者アルハ一切ノ
事務ヲ引更代印願届事致シ不苦事

城代領事

同九月六日 兵庫縣

逃亡失踪届出日限ノ義定メ無之候失踪又ハ
逃亡ト認メ候ハ速ニ可届出事

同三月十四日 稻富縣

戸主家出後嫡子養子婦女等其家事ヲ調理
スルハ勿論二十四ヶ月ヲ過キ跡相續スヘシ
尤モ嗣子幼少ナルハ親族合議家事ヲ調理
スヘシ

同八月八日 鳥取縣

逃亡トハ有心忌避シテ其踪跡ヲ晦ママ^ル云
々復歸ヲ待ツヘキ見込アル失踪トハ自ラ異
ナリトス

同十月十七日 大坂府

十年

他行ノ有區戸長ノ届ケ歸ラサル者ハ家出ニ
非ズ届月限過キテ立歸ラサレハ失踪トス別
二期限ヲ定ムルニ不及事

十年二月二十一日 三重縣

戸主支婦逃亡中其養子餓義トキ事情アルト
キハ離縁復籍可聞届事

同三月十六日 東京府

養父母失踪中正當ノ事由ニ因リ親族協議
上養女離縁可聞届事

十一年四月二日 高知縣

逃亡二十四ヶ月以内タリトモ老母ノ養育等
ニ累支エル者ハ十ヶ月後ハ再養子不苦事

同七月五日 福島縣

戸主逃亡二十四ヶ月以内タリトモ祖母貧窮
ノ為メ養子ヲ為シ戸主背シテ不苦事

同六月十九日 大改府

夫逃亡二十ヶ月後ハ其妻離縁復歸ノ義實
降無據者ニ限リ可聞届事

同三月六日 大改府

失踪逃亡ニ係ル離縁ハ地方官ニテ可取扱事
十二年四月二十二日 栃木縣

十二年

戸主失踪ニテ二十四ヶ月以内タリトモ老父
母糊口ニ迫リ無據モノニ限リ戸主改定不
苦事

同八月八日 栃木縣

戸主失踪跡養父母等ノ養育ニ累支フルモ

ノハ養子貰受不苦事

同九月十五日 福島縣

養子失踪二十四ヶ月以内ハ不得已事情有之
者ヲ除ク外ハ養子ヲ離縁ニ至リ跡相續共見
合スヘキ事

十三年四月十九日 栃木縣

戸主失踪跡継母他ニ嫁スルモ不苦事

同六月二十四日 長野縣

失踪人ノ妻離縁ハ遺胤ノ徵候ナキ者ノ保証
人アリトモ十ヶ月以内ナラテハ不相成事

同十二月二日 島根縣

失踪ノ際妻離縁ノ義ヲ遺言ニタル上ハ
十ヶ月以内タリトモ離縁聞届不苦事

法典編纂會

十四年二月十日 岐阜縣

戸主死亡一人ノ弟失踪中タリトモ親家ハ廢
絶ノ限ニ在ラヌ家財ハ弟復歸スルマテ保
管スヘキ事

十三年

十四年

十五年

十六年

十七年

十八年

同 五月廿三日 兵庫縣

失踪逃亡跡ノ相續ニ他人ヲ以テスル時ハ廿
四個月ヲ經過スルコトヲ要スルモ嗣子ニテ
相續スルハ十個月以外ハ聞届不苦事

十五年四月十三日 秋田縣

逃亡ノ戸主ハ養子ヲ爲シ老母ヲ養育致度志
願ハ十個月以外ナレハ聞届不苦事

同 五月三十日 千葉縣

戸主失踪中養子ヲ離縁スルハ戸主ノ失踪年
月ノ深淺ニ拘ハラサルベシ

十六年三月廿七日 京都府

夫失踪徳役ニ因リ其妻離縁ノ上獨身ノ夫ノ
財産ハ親族若クハ戸長ニテ保管スベキ事

沐浴綱要會

十七年一月十日 京都府

戸主失踪中其遺族公家ハ不相成事

同 十月二日 滋賀縣

戸主失踪中其子弟ヲ他ニ縁組スルハ不苦ト
雖モ公家等ハ不相成事

同 三月廿二日 廣島縣

失踪ノ養子實家絶エタル者ヲ離縁スルニハ
本人ノ復帰ヲ不及行事

十八年五月十一日 戶籍局指 福島縣

全戸失踪逃亡シ其届出ヲ爲ス者ナキトキハ
親族近隣ノ者ヨリ届出テレムベシ

同 一月十三日 戶籍局指 長野縣

逃亡失踪者八十歳以上ニナルトキハ除籍ス

ベキ處八十歳以上ニテ逃亡失跡セシ者ハ高
ホ三十六个月ヲ經テ除籍スベシ

同 二月廿二日 太政官指 内務省

八十歳以上ニテ逃亡失跡セシ者モ三十六个
月ヲ經ハ之ヲ除籍スベシ

同 七月廿九日 高知縣

同 四月廿八日 島根縣

養子又ハ妻失跡逃亡ニテ二十四个月ヲ過キ
養實又ハ夫妻両家親戚協議ノ上願出時ハ聞
届不苦但不得已事情アリテ速ニ離縁ヲ要ス
ルトキハ十个月ヲ過キ両家親戚協議願出ツ
ルトキハ聞届不苦事

同 六月二日 鹿児島縣

戸主失跡不得已事情アルモノハ總テ失跡逃
亡後十个月ヲ過キ親族協議願出ルニ於テハ
嗣子相續不苦事

但單身戸主失跡逃亡ノ場合ニ於テハ相續
方不相成

同 五月四日 宮崎縣

失跡逃亡シタル嗣子ノ相續届ヲ受理スヘキ
モノニ非ス但既ニ受理シタル外ハ其儘倉措
不苦事

十六年七月七日 内務省指 兵庫縣

十九年十月十一日 島根縣

失跡逃亡者遺留財産ハ除籍後五ヶ年間之ヲ
保管スベシ

二十年

二十年十一月廿九日 愛知縣(内務省協議)

失踪者ニ家名ヲ讓ル義ハ不相成事

二十年六月十四日 田荅 群馬縣照會

戸主死亡後失踪ノ長男相續權ヲ失フモノニ
非スト雖モ失踪者ヲ以テ戸主ト定ムルハ親
族協議ノ上出願スルモ公認スベキ限ニ在ラ
ヌ

二十年四月四日 鳥取縣

水害ニテ陷溺シタル事實明確ナル者ハ其行
衛不明ナリトモ死亡者ニ準シ跡相續田届不
苦事

二十年十一月十七日 島根縣

畝傍艦乗員ハ直午ニ死失セシモノト見做セ
シモ之レ特例ニシテ商船漁船等ハ其破船セ
シコト分明ナルモ乗組員ノ行衛知レサル者
ニ右ノ特例ヲ適用スヘカラス

二十年三月十七日 静岡縣

單身戸主失踪逃亡シテ八十歳ニ及ヒ戸籍ヲ
除スル際ニ非サレハ親族協議ニ出ツルトモ
他ヨリ相續人ヲ設ケ相續儀ハ難相成事

二十年九月十三日 千葉縣(内務省ヨリ協議)

失踪逃亡者ノ遺留財産ノ収利ヲ以テ諸税ヲ
納ルコト能ハサルトキハ裁判所ノ認可ヲ
受ケ公賣ニ附スベシ

二十年六月廿七日 福島縣

戸主ノ生存死亡ニ不均失踪ノ長男ヲ廢嫡ス
ルハ不得已事情アルモ十个月ヲ過キサレハ
難聞局事

同 六月十一日 静岡縣

失踪逃亡者ノ遺留財産ノ義親族ナク戸長ニ
テ保管スルモノハ除籍ノ日ヨリ五ヶ年保管
シタル上ハ官没スベク親族ニテ保管スルモ
ノハ除籍ノ日ヨリ五ヶ年ノ後ハ親族ノ協議
ニ可任事

二十一年

二十一年七月十四日 司法内務大臣訓令

失踪者ノ遺留財産ヲ其親族ニ於テ保管スル
場合ニ本人又ハ其家ノ利害ニ関シ協議ヲ以
テ賣却交換若クハ質入書入等ヲ為サントス
ルトキハ不動産ニ付テハ自今都テ管轄始審
裁判所ノ認許ヲ受クベシ

同 十一月 司法大臣内務大臣訓令

親族又ハ區戸長ニ於テ保管スル失踪逃亡者
遺留財産處分ニ付キ従前始審裁判所ノ認許
ヲ經タルモノハ自今始審裁判所又ハ在地ヲ除
ク外管轄治安裁判所ニ認許ヲ乞フコトヲ得
ベシ

同 二月十日 山口縣

長男失踪中ト雖モ十个月以内ハ廢嫡不相成
事

同 三月八日 福井縣

單身戸主失跡逃亡ノ場合ニ於テハ死亡又ハ
除籍ノ日迄ハ養子又ハ相續人ヲ設クベキ限
ニ在ラス

同 三月廿六日 山口縣

失跡ノ長男相續權ヲ有スルモ失跡者ヲ以テ
戸主ニ立ツベキ限ニ在ラス

同 十一月廿七日 富山縣

全戸失跡シタルモノニ付テハ其戸主死亡ノ
証ヲ得テ親族協議ノ上跡相續出願スルトキ
ハ聞届不苦事

同 十二月廿八日 千葉縣照會

單身戸主失跡ノ場合ニ於テハ除籍後ニ非サ
レハ相續人相定メ候義ハ難相成事

二十二年

二十二年一月廿一日 愛知縣

戸主失踪中獨子廢嫡家鴉換、儀ハ不相成事
同 三月十五日 金澤始審裁判所

失踪又ハ死亡跡遺留財産賣却等、除揭示
、件ハ保管者又ハ具代人、能キ賣却交與等
ヲ為ス、當否ヲ調査スヘシ特ニ揭示ヲ為ス要
ナシ

同 四月廿六日 靜岡縣

同 五月四日 同 縣

失踪跡相續願、義失踪後十ヶ月ヲ経過
シタル上親族協議出願セハ府届不呈事

同 三月十二日 北沢成縣

單身戸主失踪跡相續人ヲ設クモ無效ナル

ヘシ

同 七月五日 靜岡縣

海上行衛知レサル者、妻後夫ヲ迎フル義具死
亡ノ原因タル事實明確ナルニ於テハ死亡者
ニ準ヒ跡相續不呈事

廿二年四月六日

京都府

夫失踪後十ヶ月ヲ過キ不得已事情ニテ親族協議出願セハ逆妻相續不苦事

同

四月十九日

静岡縣

戸主失踪後十ヶ月ヲ過キ不得已事情アルハ母相續不苦事

同

九月九日

静岡縣

戸主失踪後其弟入夫願ノ義不得已事情ニテ親族協議出願セハ母不苦事

同

五月十三日

同

夫逃亡シ不得已事情アルトキハ夫妻兩家協議出願セハ離縁母不苦事

同

九月十四日

同

戸主逃亡中不得已事情ニテ長男家督相續不苦事

同

九月十八日

静岡縣

戸主失踪後十ヶ月ヲ經テ親族協議出願セハ長女ハ贅養子不苦事

同

九月廿九日

同

戸主失踪後親族協議ノ上養嗣子貰受ノ儀不得止事情アルハ母不苦事

同

二月十日

同

戸主失踪後不得止事情アルトキハ廢戸主母不苦事

同

二月十日

同

戸主逃亡中養嗣子離縁

同 六月十日 同

戸主逃亡中子女縁組

同 六月十日 同

失踪戸主ノ離縁復籍

同 六月十七日 同

失踪戸主ノ妻離縁

同 六月廿二日 同

失踪ノ養嗣子離縁

同 八月 日内務省 愛知縣

失踪逃亡者遺留財産ノ義親族執議ノ上売却

交換貸入書入等ヲ為サントスルトキハ三十

ニヶ月内ト虽モ不符已事情アルモノハ裁判

所ノ認許ヲ求メ之ヲ為シ得ベシ

行衛不明ノ者ハ親族ニ於テ失踪セシト思量

セシ月ヲ以テ届出ツベシ

同 十月廿七日 司内訓 雖本始審裁判所同

失踪者遺留財産ハ五ヶ年ノ保管期限後ハ親

族協議ノ上処分ヲ為スコトヲ得ベシ

廿三年一月十三日 内務省 司内訓 同

失踪戸主ノ遺失ヲ養子女ニ達ハシ不苦事

同 一月廿七日 沖繩縣

失踪ノ長男ニ家督相続セシムルコトハ不相

成事

同 二月 五日 新潟縣

失踪ノ夫婦離縁ノ儀ハ失踪後廿四ヶ月後ハ

夫妻兩家協儀ノ上ハ申届不苦事

同 五月十七日 北海道廳

戸主死亡ニ長男失踪後ナヶ月以上ヲ経テ不
得已事情アリトキハ廢嫡不苦事

同 十月十三日 前橋始審裁判所同左

失踪逃之者ノ遺留財産ハ除籍ノ日より五ヶ
年ヲ経タルトキハ親族協議ノ上処分ヲ為ス
ハ自由タルベク別ニ裁判所ノ認許ヲ要セズ

廿四年二月十二日 長野縣

長男失踪後次男相續セシ上長男復歸スルモ
相續権ハ長男ニ移ラザンベシ

同 五月十三日 慶知縣

法律顧問會

戸主失踪件養子離縁ノ義養家ノ親戚ナキト
シハ養家ノ近隣名若クハ知友ノ内相当ノ者
ヲシテ連署出願セシムベシ

同 五月十二日 内務省 和歌山縣

失踪者ヲ有スル戸主不待已事情ニテ廢嫡ス
ルハ不苦事

戸主失踪件其遺族ハ如何ナル事情アリモ轉
籍不相成事

同 六月四日 内務省 群馬縣

夫失踪件其婦其子ヲ携ヘ復籍スルハ子カ失
踪希ノ急暫相續人ナシハ携帶復籍不相成又
婦單獨ニ復歸スルニトヲ出願スルニ當リ夫
家ノ親戚ナキシハ其連署ヲ要セズ

同

二月十一日

鳥取縣

單身産生跡ノ場合ニ於テハ死亡又ハ除籍
ノ日コテハ養子又ハ相続人ヲ設クベキ限ニ
在ラズ

二十五年四月八日 司總務局回答 山口縣内合

同 六月

内府務局回答

廣島縣照會

失踪後十ヶ月、経テ雙方親戚熟議ノ方ハ

適妻離縁不苦事

失踪後十ヶ月、経テ養實兩家熟議ノ上

養子女離縁不苦事

同

十二月一日 山形手縣

元主失踪中養女離縁ハ親族協議ノ上

上不苦事

同

四月廿九日

司總務局回答

熊本地方裁判所照會

失踪又ハ死ニ跡適留財産ニ満五ヶ年経

過セシモノハ裁判所ノ認可ヲ經テ登記ヲ為シ

法務省

ニ戻ス

二十六年十月三十日

民刑局回答

愛知縣照會

海中ニ於テ暴風ニ遇セ行衛不分明ナル者ハ適

妻結婚ハ失踪者ニ準レ差許シ不苦事

二十七年六月二十八日 徳島縣

失踪者、跡相續々為ニキ子女ニ之ヲ携帶
スルコトヲ得ス

同 十月廿六日 長崎縣

失踪セシ長女ヲ廢嫡スルニ不得已事情アル
ニ限リ親族協議出願ノ上ハ聞角不事

同 四月廿一日 愛知縣

元皇失踪中其弟分家、親族協議ノ上ト
至モ難聞角事

同 九月廿七日 内務大臣指令 滋賀縣同

失踪ノ場合、於テハ除籍ノ日より五ヶ年間
併存ノ後直ニ遺留財産ヲ相續スルコト
ヲ得

法典編輯會

同 九月三日 千葉縣

再村長又ハ親族、於テ併存ニ遺産ヲ五
ヶ年満了、後官設地方振興組必又ハ親
族、於テ應分セシムルキハ裁判所ノ認
許ヲ要セス

同 二月廿二日 大判 福島縣

失踪者、遺留財産中ノ物件ト金錢トノ
二種アルモ總テ之ヲ併存ニシキ家族又ハ親
族ナキトキハ除籍後滿五ヶ年間再村長
、於テ併存シ爾後官設又ハ親族ニシテ
應分スルコト從前ノ通ナルヘシ（金錢ニ付
キ別ニ二十三年法律第一號ニ依リ三ヶ年
ノ併存ヲ要ス）

同 四月六日 東京府

失踪者ノ所有ニ係ル家屋ヲ親族ナキ為
メ區所村長ニテ保管スル場合ニ保管上
ノ利害ニ關レ之ヲ賣却シ其代金ヲ保
管スルハ保管轄地方裁判所ニ認可ヲ受
ケルハナシ

廿八年四月 山只村

單身主失踪中臨相墮言ニ失踪者ノ死亡ニ際藉リ曰ニ
相墮人ヲ望ムルコトナク

四月 法務省

失踪中ノ長男ヲ表揚ナシニ相墮言ナクニ長男ノ廢墮ヲ
要ス

廿八年十月 香川縣

戸主失跡中 長男ヲ他處ニ移シテ其親類ノ手ニシテ長男ノ家名ヲ相傳
スキキナルヲ以テ之ヲ廢絶シテ他家養嗣子トシテトシテ

廿九年一月 宮崎縣

失跡者ノ嗣子ニ順ナル女子他處縁組ノ事ニ親類拒絶スル上ニ
是等事其意

四月 千葉縣

父母失跡中 幼稚ノ子女他處ニ養育女子ニ適ハスコト其母事傳
タルトナレモ是等事其意相違フコトモナレトナリ是等事其意

七月 靜岡縣

戸主ニ家族等リテ失跡タル場合ニ於テ戸主死亡ノ証ヲ執族
族等ノ上ニ執族ハ他人ノ証ヲ相違フ事タルコトナレトナリ
右ノ場合ニ於テ戸主滿八十才ナリトテ戸主初隠ラレトナレトナリ

法典調查會

前述二個ノ場合ニ於テ他人ノ証ヲ相違フ事タルコトモナレトナリ是等事其意
ノミナリ是等事其意相違フ事タルコトモナレトナリ是等事其意

九月 靜岡縣 地方裁判所 戸主

十月 靜岡縣 地方裁判所 戸主

失跡又ハ死亡跡遠隔別處ニ執族ニ係官シ満年內ニ於ケル
書印交換案ノ書印ナリ是等事其意相違フ事タルコトモナレトナリ是等事其意

十月 福島縣

失跡中 長男ニ違別處ニ執族ニ於テニ係官シ其母別ニシテ
執族ニテ有ルコトナリ其母長ニ係官シ不動產ノ処分ニ付テハ裁判
所ノ認許ヲ受ケルコトナリ

十月 福島縣

聲名失跡ニテ執族ナリ又近隣ノ者其母出ラケルコトナリ其母ナリ

トキハ主屋ニ在籍地ヲ去リタル者其所在申告セザルモノハ七月
以上ノ及フトモ、町相長ニ於テ戸籍ニ失障ノ登記ヲ爲スベシトス

三十年二月十七日

名寄地方裁判所書記

失障又ハ死亡歸還前財産処分者本人ハ其所在ノ利害ニ及ビ之ヲ
妻即交換セルガハ死亡又ハ降籍ノ時ニテハ其ノ経過ニ於テモ
之ヲ降籍セルハ妨ケナシ然レトモ還前財産ノ隠蔽シ又ハ之ヲ相隠セルハ
ハ左ノ諸刑令ヲ科スニ及ビ之ニ關シ降籍ニキミリニ非ス但還前財産
係屬ニキミリ死亡又ハ降籍ノ時ニテハ其ノ経過ニ於テモ裁判
所ノ降籍ノ要セズ又親族協議ノ上処分シテ要スナシ

司法省訓令第十一号

廿年七月四日

生跡又ハ死亡歸還前財産ノ其親族ニ係屬ニ場合ニ於テ本人
又ハ其妻ノ利害ニ及ビ之ヲ隠蔽シ又ハ其妻即交換シ又ハ其ノ経過
ニキミリ死亡又ハ降籍ノ時ニテハ其ノ経過ニ於テモ裁判
所ノ降籍ノ要セズ又親族協議ノ上処分シテ要スナシ

法典調査會

日訓令第十一号

廿年十月九日

親族係屬ニ係ル失障又ハ死亡歸還前財産ノ其妻即交換シ又ハ其
妻ノ利害ニ及ビ之ヲ隠蔽シ又ハ其妻即交換シ又ハ其ノ経過
ニキミリ死亡又ハ降籍ノ時ニテハ其ノ経過ニ於テモ裁判
所ノ降籍ノ要セズ又親族協議ノ上処分シテ要スナシ

日訓令第十一号

廿年十月九日

親族又ハ死亡長ニ於テ係屬ニ失障又ハ死亡歸還前財産ノ其妻即交換シ又ハ其
妻ノ利害ニ及ビ之ヲ隠蔽シ又ハ其妻即交換シ又ハ其ノ経過
ニキミリ死亡又ハ降籍ノ時ニテハ其ノ経過ニ於テモ裁判
所ノ降籍ノ要セズ又親族協議ノ上処分シテ要スナシ

ノ代領セザルモノハ降籍ノ要セズ